

日本地学教育学会 2019 年度第 6 回常務委員会議事録

日 時：2020 年 6 月 18 日（木）18:00～19:15

会議形式：Cisco Webex Meetings による web 会議

出席者：久田健一郎，高橋 修，伊藤 孝，上栗伸一，小関純一，澤口 隆，清水政義，中林俊明，西浦慎悟，林 慶一，廣木義久，宮下 治，宮脇亮介，吉本直弘，米澤正弘，渡来めぐみ（計 16 名）

議 題：

1. 2020 年度総会および全国地学教育研究大会について

2020 年度の評議員会，総会，大会については，以下のような方針で実施することを決定した。日程は，評議員会（9/19：土），総会（9/20：日），大会（11/8：日）とし，いずれもオンライン上での開催とする。大会についての詳細は次回の常務委員会で決定するが，現時点での方針は以下の通りとする。

- ・久田健一郎会長を大会委員長とし，主に関東在住の常務委員でその運営を行う。
- ・2020 年度の全国大会は，原則，学会員のみでの発表・参加の場とし，「全国地学教育研究大会」扱いにはしない（シンポジウム講演者，ジュニアセッションの高校生および引率教員は例外とする）。
- ・文科省はじめ後援や共催は求めない。

2. 優秀論文賞・若手学術賞審査委員会内規の一部修正について

2019 年第 5 回常務委員会で決定した「優秀論文賞・若手学術賞審査委員会内規」であるが，以下の通り，下線部のみ一部修正を行う。

日本地学教育学会 優秀論文賞・若手学術賞審査委員会内規

1. 審査対象者を以下のように定める。

（修正前）2) 若手学術賞：本会学会員であること。該当年の「地学教育」誌に掲載された原著論文および資料論文の筆頭著者であり，論文受理日において満 40 歳に達しておらず，過去に本賞を受けていないこと。

（修正後）2) 若手学術賞：本会学会員であること。該当年の「地学教育」誌に掲載された原著論文または資料論文の筆頭著者であり，論文受理日において満 40 歳に達しておらず，過去に本賞を受けていないこと。

3. みんなの地学編集委員会の次期体制について

次期みんなの地学編集委員会（任期：2020 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日）の体制を以下のとおりとする。

廣木義久（委員長），瀧本家康（副委員長），梅田真樹，菅原久誠，竹村英紀，中林俊明

4. 地学教育編集委員会の次期体制について

次期地学教育編集委員会（任期：2020 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日）の体制を以下のとおりと

する。

西浦慎悟（委員長）、間處耕吉（副委員長）、上栗伸一（副委員長）、伊藤信成、佐藤鋭一、下井倉ともみ、土井 徹、平田豊誠、山根悠介、山本順司、吉川武憲、吉富健一

5. 『地学教育』特集号について

これまで『地学教育』における特集のあり方については明文化されておらず、経験的に運用されてきた。今後に向け、発起・受付・査読等の方針について整備していくこととした。また、それと並行して、提案のあった特集「災害多発時代の地学教育（仮）」については、2022年1月発行を目指し、作業を進めていくこととした。

6. 業務委託契約更新について

学会の年度の2020年度についても、引き続き、株式会社国際文献社に業務委託を継続することとした。

7. 会勢について

2020年6月15日現在の会員数は545であり、以下内訳である。

正会員	429
正会員（学生）	12
正会員（シニア）	51
購読有料会員	25
購読無料会員	24
在外	1
在外学生	0
名誉	3

報 告：

1. 2020年度役員選挙について

今回から電子投票を採用している2020年度役員選挙であるが、6月18日付の投票数等について紹介があった。

2. 国際天文学連合（IAU）学校教育推進室（OAE）日本窓口について

国際天文学連合下の学校教育推進室の日本窓口の構成について紹介があった。地学教育学会としては、今後も積極的な連携をはかっていく予定である。

3. 2020年度日本地学教育学会賞について

日本地学教育学会賞の審査委員会が立ち上がり、各賞の審査が進行中である旨、報告があった。

4. 2021年度東京大会について

2021年度東京大会実行委員会（第1回）を、5月29日（金）にWeb会議で開催し、

1. 大会日程：2021年8月21日（土）～8月23日（月）を案とした。

2. 大会会場：東洋大学白山キャンパス（〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20）

などの検討を行った。

第2回実行委員会は2020年10月頃に開催予定である。

次回常務委員会も今回同様、web会議形式とする。実施予定日は7月22日（水）である。